- 「法則の神」15 (五)神は法則を通じて霊界・宇宙・万物を支配する存在者愛の存在- 「愛の神」14 (四)神は人間にとって霊的な親であり、	(三)神は霊界・宇宙の創造者―「創造主としての神」 12(二)神は唯一の無形の存在者―「大霊としての神」 9明らかにした正しい神観 9	第一章 神とはスピリチュアリズムが第一部 霊的真理のエッセンス	はじめに 6	心の道場 続スピリチュアリズム入門
(二) 動物への虐待―生命の尊厳性の無視、 (一)人間と動物の本来の関係	(二) 妖精	(三)憑依現象について	霊・邪悪霊・・・・・霊界の存在者たち ⟨2⟩	(二)背後霊―地上人への強力な応援者 21(一)守護霊―地上人の個人指導霊 19第二章 守護霊・背後霊霊界の存在者たち〈1〉 19

弱者に対する冷酷さ・無慈悲さ -----

		(二) スピリチュアリズムの善悪観50	(一)従来の善悪観 48	第八章 善と悪について 48	(三)運命に対する正しい姿勢 45	(二) 地上への再生と運命の決定	(一) 因果の法則に基づく「罪と罰」42	第七章 人間の運命について 42		(三) 宇宙人の霊的成長と再生40	(二) 宇宙人の存在とその様子 38	(一)無意味な宇宙人への好奇心	第六章 宇宙人の存在と、宇宙人の霊的進化 37		(三) 動物の死後の様子と霊的進化 35
利他愛の実践(人を正しく愛する)	(一)霊主肉従の努力(霊優位のための自己コントロール)(6)	3 第二章 霊的真理の実践内容(霊的人生の実際) 76		9 第一章 地上人生の意義と目的 73	? 第二部 霊的真理の実践(霊的成長のための実践論)	73	(三) 複雑な再生のメカニズム 67	(二)「類魂説」に立脚した再生論と、再生の目的 66	(一)「再生論」をめぐるスピリチュアリズム内部の大論争(65	9 第十章 再生について 65		(三) スピリチュアリズムとニューエイジ 1	5 (二) スピリチュアリズムとキリスト教 57	(一)スピリチュアリズムと地上の宗教との違い 4	3 第九章 スピリチュアリズムと地上の宗教

シンキング的生き方100	スピリチュアリズムは最高のポジティブ・第五章 霊的真理による楽天的な人生を目指して	(三) 霊的成長に対する焦りとマンネリ	(一) 寂しさと嫉妬 93	第四章 霊的人生を歩むうえでの、さまざまな困難 93	霊的人生における最高の霊的処世術 91	第三章 道具意識について		―霊的成長のための強力な手段 87	(五)霊的世界とのストレートな交わり(瞑想・祈り)	(四)苦しみへの正しい対処	全人類に対する利他愛の実践	(三)霊的真理の普及活動(伝道)—
第五章 男女愛と結婚について	第四章 先祖供養について 112	第三章 葬式と墓について 110	(三)』高級霊訓"との出会いは最高の心霊現象 108	(二)心霊現象の目的―心霊現象は『霊的真理の前座』 108	(一)心霊現象・交霊会における低級霊の暗躍 107第二章 心霊現象と交霊会について 107		(二)霊能者について	—「サイキック能力」と「スピリチュアル能力」 104	(一)二種類の霊能力	第一章 霊能力と霊能者について 104		第三部 その他の身近なテーマについて

摂理にそった正しい子供の導き方	(二) 霊性教育の重要な要素― (二) 霊性教育の主役は親―神の代理者としての親の立場 -教育	第七章 霊性教育について 人類への奉仕のチャンスとしましょう!	第六章 日常の仕事について仕事を霊的成長・	(四)同性愛について	(三) 霊的人生と結婚(二) 霊界での男女愛(異性愛)	(一)地上世界での男女愛(異性愛)
130 129	127 126 126	123 ž		120	119 117	115
		おわりに――真のスピリチュアリズムの発展を願って― 144(三)健康を維持するための四つの実践項目 139	(二) 医学の在り方と問題点 137 (一) 霊と心と身体の調和―健康の大原則 135	スピリチュアリズムの健康論 135	第八章 健康と医学について	(五)カルマの法則と霊性教育の結果 132